

さくら通信

平成 29 年 1 月発行

《発行者》

さくら動物病院
新聞編集委員
今井
井出

謹んで新年のお慶びを申し上げます。



皆様のおかげをもちまして 16 年目を迎えることになりました。近年、動物病院に来院する患者様、動物の種類も多くなり、高度医療を期待される方が年々多く見受けられます。

当院では皆様方のすべてのご期待に沿えるよう日々勉強の毎日です。しかし、高度医療は治療の方法論の一つであり、高度医療をすることが目的ではありません。治療は飼い主様と動物の病態により全てがオーダーメイドです。しっかりお話をさせていただき飼い主様、大切な動物に苦痛のない治療を常に模索して、飼い主様の動物への思いを叶えるため、ベターからベストの治療を一緒に作り上げていきたいと常に思っています。

実は私は「高度医療」という言葉をあまり使いたくないのです。つい 15 年前までは、例えば椎間板ヘルニア手術、胆嚢摘出術、尿管ステント手術、超小型犬のプレート手術、白内障手術、水晶体手術、網膜手術、角膜手術、再生医療等、高度医療言われてきました。しかし、現在当院ではこれらの手術は通常の治療・手術であり高度医療とは呼んでいません。つまり世の中で「高度医療」と呼ばれるものが通常の治療でできるようになれば標準手術なのです。当院では世の中で高度治療と言われているものを標準治療にしていきたいと思っています。医療に携わる者は勉強して当然、出来ない治療は努力して身につければいいだけのことです。大切な動物に対する治療法は選択肢が多いほうがいいのです。このことを念頭におき、世の中で特殊分野と言われている眼科、整形、神経外科、再生医療、これらを当院の各担当が努力して身につけ、質の高い医療として患者様に提供できるよう日々精進しております。もちろん「主役は動物」この事は絶対に忘れずにです。「誰の為に、何の為に」このことを常に自問自答しながら日々全力で診察に臨んでいく所存です。そして、皆様に信頼されるよう心のこもった医療に努めてまいります。

どうか今年もよろしくお願ひします。



さくら動物病院
長野どうぶつ眼科センター
長野どうぶつ再生医療センター
スタッフ一同
院長 横山篤司

ペットの生活習慣病をチェックしよう！

獣医師 宮地

「見つめられるとどうしても我慢できなくておやつをあげちゃう」

「体が丸い方がコロコロしていて可愛い！」

「ずっと美味しいものを知らないでいるのはかわいそう・・・」

良くないこととは分かっていてもやめられない、そんな飼い主さんの気持ちはすごく分かります。では、なぜこれがいけないのでしょうか？自由になんでも食べさせたり、太らせてしまうのはなぜよくないのか、具体的な理由を考えてみたことはありますか？

おやつちょう
だい♪



ペットにおいても「生活習慣病」が増加傾向にあることをご存じですか？人医療では研究が進み肥満・高脂血症・糖尿病・高血圧など様々な疾患が生活習慣と深く関係していることがわかってきました。

ペットの病気は遺伝要因が強いので、人ほど生活習慣による病気の発症率は高くないのですが、近年、生活習慣病のリスクがとても注目されはじめてきています。運動不足、カロリー（おやつ）の過剰摂取、ストレスなどが生活習慣病発症の原因とされています。

ペットの生活習慣病によって起こる代表的な問題は次のようなものがあげられます。

- 肥満による心疾患・呼吸器疾患・関節疾患・皮膚疾患などの発症・悪化
- ホルモン疾患（糖尿病、甲状腺機能低下症、副腎皮質機能亢進症など）の発症
- 高脂血症による発作・失明
- アレルギー疾患の発症
- 運動不足によるストレス



ペット生活習慣病が注目されるにつれ、「脂質代謝異常症」という病気が指摘されるようになりました。

これは生活習慣や遺伝によって「高コレステロール」や「高中性脂肪」を引き起こす病気で、薬物によって治療します。ペットにおいても最近検査方法が確立され、当院でも行うことができます。下記にあてはまる場合は脂質代謝異常検査を行ってみるのもひとつです。

- ✓ 脂質代謝異常の好発犬種である（ミニチュア・シュナウザー、シェットランド・シープドッグなど）
- ✓ 血液検査で高コレステロール、高中性脂肪である
- ✓ ダイエットをしているが、なかなかやせない
- ✓ 隠れた生活習慣病リスクを見つけたい



生活習慣病は「サイレントキラー」とも呼ばれ、自覚症状がないまま知らないうちに症状が進行し場合によっては死に至る、非常に恐ろしい病気です。

私たちの生活に密接に溶け込むようになったペットたちの食生活は私たちが管理し、健康を維持してあげなくてははいけません。おやつがすべて悪いわけではなく、節度をもって、1つのペットと

のコミュニケーションツールとして上手に使いましょう。おやつの種類を1つ減らす、5分多く散歩してみる、そんな小さな1歩が、大切な家族の病気を防ぎ、少しでも長く健康で、笑顔で一緒にいられることにつながると思います。

退職の挨拶

この度、12月31日をもって当院を退職することになりました。

さくら動物病院で働き始めて5年が経ち、いろいろな症状や病気の子達と

接してきた中で、トリミングをしながら動物病院のトリマーとして発見できた

症状もたくさんあり、たくさんの経験を積むことが出来ました。

トリマーとしてその経験を生かし、2017年2月に小諸市内でTrimming Salonを開くことになりました。

たくさんの飼い主様・そしてわんちゃん・ねこちゃんには大変お世話になりました。出逢えたことに感謝しています。ありがとうございました。

トリマー 林 茉弥

Trimming Salon ACE

Open 9:00 Close 18:00



トリミング部門閉鎖のお知らせ

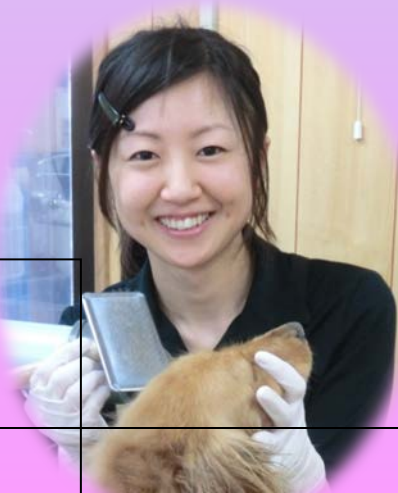
毎日たくさんのわんちゃんに来ていただいたトリミング部門ですが、12月をもってさくら動物病院のトリミング部門は閉鎖いたしました。

3人のトリマーさんは今後、それぞれ別の場所で同じようにわんちゃん

と飼い主さん達を幸せにしていきます。

本当にお疲れ様でした！

さくら通信編集部一同



あなたとペットの生活をもっと素敵に！

第14回さくらスクール開催のお知らせ



歯科学

ペットの歯医者さん

杉本太一 獣医師



免疫学

ペットのアレルギー

今井琢磨 獣医師

動物介護

老後も楽しく！

犬猫の介護

富田郁恵 看護師



日時:2017年3月26日(日)

場所:こもろプラザ 市民交流センター

講演開始:13時受付開始 13時30分講演開始

参加無料(要予約となります)

SAKURA ANIMAL CLINIC

さくら動物病院

長野どうぶつ眼科センター(併設)

休診: 火曜日/第四日曜日/木・日・祝祭日の午後

EyeVet 小林一郎先生の診察: 毎月第3木曜日(変更あり)

※眼科診察は要予約です。

メールマガジン月2回配信中！

詳しくはこちら



休診日・院長診察日は
当院のホームページ
またはお電話にて
ご確認ください。